

CAMUI など紹介

「北海道の宇宙開発展」

25日まで

【札幌】NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)主催の「北海道の宇宙開発展」が18日、JR札幌駅西口コンコースで始まっている。



JR札幌駅で開かれている「北海道の宇宙開発展」

つた。道産ロケットCAMUI(カムイ)を中心に北海道の宇宙開発の成果を紹介している。25日まで。

HASTIC設立5周年を記念して開催。道民や観光客らに道内の宇宙開発の現状や取り組みを広くPRし、理解を深めてもらうが狙い。

会場では、CAMUIの燃料室の断面や燃料サンプルを初公開。大樹町で打ち上げ成功した最新機「ハフリッドロケットCAMUI-250S型」の模型や無重力実験で使用する落下カプセル、実際に打ち上げたCAMUI使用機も展示している。

HASTICや大樹町、十勝圏航空宇宙産業基地構想研究会の取り組みなどをパネルで紹介しているほか、大樹町でのこれまでのCAMUI打ち上げ実験の映像も流し、駅の利用客らが見入っている。

HASTICの伊藤敏一 副理事長は「皆さんと一緒に、自分たちの手で北海道の宇宙開発を育てていきたい」と話している。(澤村真理子)